

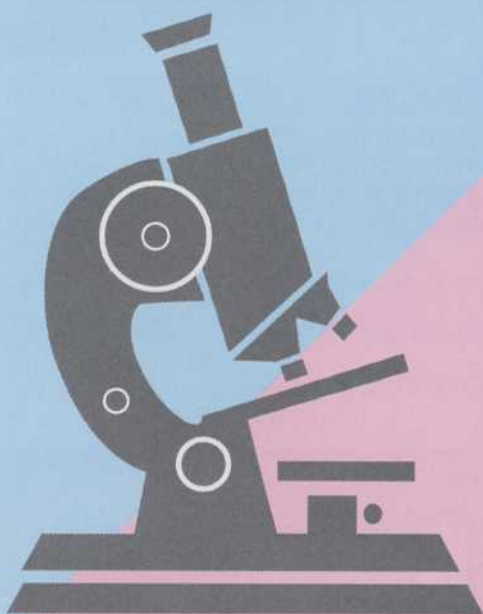
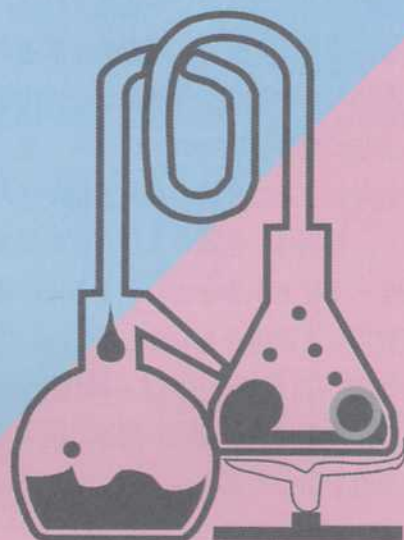
■ 塗料用防かび・防藻剤

# バイテック

水系内部用

水系外部用

溶剤用



■ 塗料用防かび・防藻剤

# バイテク

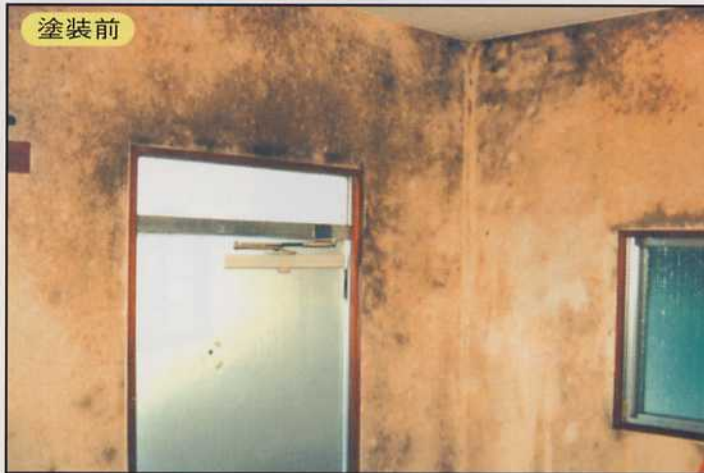
☆ 温暖で多湿な日本の風土は、かびや藻類の生育に適しています。

このため、我が国の生活様式は、古くからかびやその他の微生物と、深い関わりを持ってきました。酒・みそ・しょうゆなどの発酵技術は、かびとの付き合いから生まれた、我が国の代表的な生活の知恵といえます。また、開放的な構造を持つ日本家屋は、梅雨時期のじめじめを防ぎ、住居をかびの汚染から守ってきました。

☆ しかし、近年になり建物のコンクリート化、新建材・アルミサッシなどの普及によって建物の高气密化が進み、湿害が深刻になってきました。湿害は、結露およびかびの発生に始まり、建物内外装材の汚染・劣化を引き起こし、さらには喘息・アレルギーなど居住者の健康にも障害をもたらします。この他、造成地に建てられた住宅の外壁では、藻類発生による緑化汚染が問題となっています。

☆ バイテクは、現場で各種塗料へ簡単に混入でき、塗膜に優れた防かび・防藻性を付与します。

## かびで汚染された室内



## かび

代表的な微生物



アスペルギルス属  
(黒かび)



ペニシリウム属  
(青かび)



# 住環境と建物を衛生的

- バイテクは、強力な防かび・防藻性付与剤です。
- バイテクは、すぐに使える現場混入方式です。
- バイテクには、タイプあります。

水系内部用塗材・塗料には  
**バイテク水系  
 内部用**

水系外部用塗材・塗料には  
**バイテク水系  
 外部用**

溶剤系塗料には  
**バイテク  
 溶剤用**

## バイテクの防かび試験

### 試験方法

JIS Z 2911  
 かび抵抗性試験

### 試験期間

3週間

### 試験菌

アスペルギルス属 ペニシリウム属  
 クラドスポリウム属 オーレオバジウム属



AEP7000に  
 バイテク水系内部用を添加



ラフトンEMエナメルに  
 バイテク水系外部用を添加



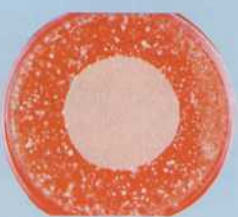
ラフトンウレタンエナメルに  
 バイテク溶剤用を添加



市販のエマルジョンペイント



市販の水性エナメル



市販のポリウレタン樹脂エナメル

## 藻が発生した外壁

### 塗装前



### 藻



クロレラ属  
 (緑藻類の1種)

にクリエイトする。



バイテクの防藻試験

試験方法	試験期間	試験菌
寒天培地法	3週間	クロレラ属 クラミドモナス属



塗装3年後



ラフンEMエナメルに  
バイテク水系外部用を添加



ラフンウレタンエナメルに  
バイテク溶剤用を添加



市販の水性エナメル



市販のポリウレタン樹脂エナメル

## 用途

- かび・藻の発生している内外壁の改装
- 浴室や食堂など、かび発生箇所の塗替
- 建物内外装のかび・藻対策

### バイテク水系内部用



#### 適合製品

種別	品名
つや有り合成樹脂 エマルジョンペイント	グロリス
合成樹脂 エマルジョンペイント	AEP7000 AEP6000 AEP4000
低汚染性合成樹脂 エマルジョンペイント	AEPモダン100
ビニルクロス 塗替用塗料	スズカクロストップ
内装用仕上塗材	ラフトン内部用
低汚染性内装用 仕上塗材	ラフトンフレッシュセミクロス ラフトンフレッシュゆずはだ
結露防止仕上塗材	スズカ防露
調整・仕上塗材	スズカフレックスコート

### バイテク水系外部用



種別	品名
複層仕上塗材用 上塗材	ラフトンEMエナメル エコウレタン エコシリコン エコフッソ
薄付け仕上塗材	スズカリシン ラフトン弾性リシン
省力形模様 仕上塗材	ダイナコート
多機能性仕上塗材 (単層弾性塗材)	ビューレ ビューレタイル ビューレつや消し
厚付け仕上塗材	ラフトンスタック

### バイテク溶剤用



種別	品名
合成樹脂 調合ペイント	エスコートホープDX
特殊アクリル 樹脂塗料	アクリルバーン
弱溶剤形 アクリル樹脂塗料	ニューモルコン ニューモルコングロス
高耐候性塗料	ラフトンフッソ ラフトンセラミック
複層仕上塗材用 上塗材	ラフトンアクリエナメル ラフトンウレタンエナメル ワイドウレタン
屋根用塗料	エポーレ ワイドルーフ

●バイテクは、クリアー塗料・スキンなどの多彩塗料には使用できません。

## 内部仕様

工程	内容
下地処理 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ブラシ・皮すきなどを用い、劣化塗膜を除去する。</li> <li>●必要に応じて、ホワイトナーをブラシ・はけ・ローラー・ウェスなどで塗布し、下地の汚れやかびを漂白除去する。</li> <li>●濡れウェスで十分に拭き取りを行い、ホワイトナーを除去した後、16時間以上養生する。</li> <li>●カビデッドをはけ・ウールローラーを用いて塗布し、下地奥深くのかびを除菌する。</li> </ul>
下地調整	●巣穴・段差・目地などを合成樹脂エマルジョンパテで補修する。
下塗り	●所定の下塗材を塗装する。
上塗り	仕上塗材・塗料 + $\left. \begin{array}{l} \text{バイテク水系内部用} \\ \text{または} \\ \text{バイテク溶剤用} \end{array} \right\}$ を塗装する。

(※) ホワイトナー・カビデッドのご使用の際は、サニタリー工法のカatalogをご参照ください。

## 使用方法

- 塗料(15kg ~ 20kg /石油缶) 1缶に、バイテクを1本(180g) 添加し、均一になるまでよくかくはんしてください。
- 2液形塗料に使用する場合は、主剤へバイテクを添加しよくかくはんした後、硬化剤を混合してご使用してください。バイテク添加後の塗料はできるだけ早く使用し、長期保存は避けてください。

注) バイテクは、よく振ってからご使用ください。また、所定量を厳守してご使用ください。

## 外部仕様

下地処理	●高圧洗浄機・ブラシ・皮すきなどを用い、かび・藻類・劣化塗膜を除去する。
下地調整	●巣穴・段差・目地などをラフトンフィラーで補修する。
下塗り	●所定の下塗材を塗装する。
上塗り	仕上塗材・塗料 + $\left. \begin{array}{l} \text{バイテク水系外部用} \\ \text{または} \\ \text{バイテク溶剤用} \end{array} \right\}$ を塗装する。

## 容量

180g入り(ポリ容器)  
×  
12本入り/ダンボール

## 取扱い上の注意事項

■製品を正しく安全にご使用いただくために、下記事項を守ってください。

- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。  
・防塵マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布やウェスで拭き取るか、砂などを散布したのち処理してください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石けん水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 取扱い後は、手洗い・うがい・鼻孔洗浄を十分に行ってください。
- 容器は密栓し、40℃以下で子供の手の届かない一定の場所を定めて保管してください。  
特に下記の場所の保管は避けてください。  
・雨水や直射日光の当たる場所・高温多湿の場所・潮風の当たる場所・凍結の恐れのある場所など
- 捨てるときには、産業廃棄物として処分してください。
- 詳細な内容が必要ときには、製品安全データシート(MSDS)をご参照ください。

● バイテク溶剤用、溶剤系塗料の取扱いは、上記取扱い上の注意事項および下記注意事項を必ずお守りください。

- 引火性の液体ですので、火気のあるところでは使用しないでください。
- 吸入すると有機溶剤中毒を起こす恐れがありますから、換気をよくし、蒸気、スプレーミストを吸い込まないように必ず保護具を着用してください。
- 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けてください。
- 取扱い中は、皮膚に触れないようにし、必要に応じて下記の保護具を着用してください。  
・有毒ガス用防毒マスクまたは送気マスク・頭巾・保護めがね・長袖の作業衣・えり巻きタオル・保護手袋・前掛けなど
- 臭いは食品・飲食器・衣類などに、うつる場合がありますので、作業場所から遠ざける、または養生するなど、十分に注意してください。
- 容器から出し入れするときは、こぼれないようにしてください。もしこぼれた場合には、布で拭き取って、水の入った容器に保管してください。
- 火災時には炭酸ガス消火器、泡消火器、または粉末消火器を用いて初期消火してください。

## 塗装上の注意事項

- ・気温5℃以下、湿度85%以上での塗装は避けてください。
- ・冬期や雨天などで結露が生じやすい時、降雨・降雪が予想される場合は、塗装を避けてください。
- ・乾燥した塗膜は水に溶けませんので、塗装用具は、使用后、直ちに、水で洗浄してください。
- ・塗料は開缶後よくかき混ぜて、中味を均一にしてからご使用ください。
- ・塗装後、塩ビ材質(レザーシート)などの応接セットを塗面に接触しますと、可塑剤の移行により塗膜が塩ビ材質に付着し剥離することがありますので、応接セットや建具などは直接塗膜に触れないようにしてください。
- ・材料の保管は、極端な低温(5℃以下)、高温(40℃以上)を避け、屋内に保管してください。



営業本部 ☎510-0101 三重県三重郡桶町小倉1058-4 ☎0593-97-6190 FAX 0593-97-6191  
技術センター ☎510-0851 三重県四日市市塩浜町1 ☎0593-46-1116 FAX 0593-46-4585

ホームページ <http://www.suzukafine.co.jp>

東京事務所 ☎03-3645-4516	播磨営業所 ☎0791-67-8977	九州支店 ☎092-938-0071
名古屋支店 ☎052-411-1255	和歌山営業所 ☎073-461-2711	熊本営業所 ☎096-378-1795
三重事務所 ☎0593-97-6115	四国支店 ☎0877-24-4621	宮崎営業所 ☎0985-50-6840
大阪支店 ☎072-862-1601	松山営業所 ☎089-922-0577	鹿児島営業所 ☎099-265-9480
神戸営業所 ☎078-805-5789	広島支店 ☎082-277-1116	沖縄営業所 ☎098-884-6054

東日本スズカファイン(株)  
本社 ☎03-5606-8011 神奈川支店 ☎046-286-3220 長岡営業所 ☎0258-27-4723  
札幌支店 ☎0133-60-6311 静岡営業所 ☎054-285-3158 富山営業所 ☎076-421-5578

取扱店